

三鷹市議会議員

〈平成 20 年 1 月〉

あつみのりひさ

渥美典尚 活動報告



連絡先：〒181 - 0004 三鷹市新川4-24-7 あつみのりひさ と歩む会

電話：0422 - 48 - 6338 FAX：0422 - 44 - 9568

www. atsumi nori hi sa. net an@atsumi ya. co. jp

12月3日から12月21日まで、平成19年三鷹市議会第4回定例会が開催されました。今回の議会では、東台小学校の建て替えの件、「星と森と絵本の家（仮称）」整備事業の件などの議案が審議されました。詳細は市議会HP、議会だよりを御覧下さい。

平成19年第4回定例会（12月議会）

にて一般質問をしました。

◆三鷹市議会12月議会にて6月・9月議会に続いて3度目となる一般質問を行いました。質問内容概要と、市側答弁概要は以下の通りです。

『防災・安全安心・交通安全の
まちづくりについて、4つの質問』

【質問】

①「三鷹市消防団第一分団詰め所の 建てかえについて」

一般火災や大震災の際には、消防署や消防団が持つ消防車1台1台の重要さというものは計り知れないものがある。三鷹市消防団の詰め所では、ちかちか第十分団の詰め所が完成し、大震災にも強い詰め所として見直さなくてはならないところは、残すところあと第一分団のみとなった。以前より第一分団詰め所の建てかえ計画は上がっているが、その重要性から、いまいちど現在の進捗状況をお聞きする。

【答弁】

第一分団詰め所の建替えは三鷹市第3次基本計画第2次改訂でも主要事業として位置づけており、計画期間内に完成させる予定である。

【質問】

②「小学校児童における携帯電話の 所持について」

児童生徒が携帯電話を持つ際の、負の側面からではなく、安全安心のために有用な機能性に着目しての質問である。

現在、三鷹市立の小学校では、携帯電話を持って通学することは禁止されているが、帰宅後、習い事や遊びに行く際には携帯電話を持って出かける児童も多い。

最近の子ども用携帯電話には、防犯ブザーやGPSによる居場所確認機能が付いている。その機能を重視して子どもに携帯電話を持たせた保護者、また、今後持たせたいという声は多いと思われるが、これまで、携帯電話を所持しての通学を打診、相談されたことはあるか？

三鷹市では携帯電話を活用した「親子安心システム」の構築が計画されている。近く実証実験が始まるが、その実証実験には約100台の携帯電話等端末が使用される。この実証実験参加希望者が多数になることが予想される。また、実験参加から外れた場合、自前の携帯電話を持たせたい、という声が強くなるのではないかとと思われるが、どのような配慮をしていくのか？

【答弁】

携帯電話所持の要望は幾つかの小学校で出たことがある。今後として教委は、安全性や生活指導などを含め慎重に検討することになる。

「親子安心システム」の実証実験・事業では、小学校、学童保育所など関係者への調査をし、できる限りの意見を反映して実施していく。

【質問】

③「狭小路、抜け道などの一方通行化について」

住宅街の狭小路などは拡張することは難しく、また、狭い道路が抜け道になってしまい、驚くほど通行量の多い狭小路も多くある。狭小路や抜け道などの安全性を向上させるために有用な策として、一方通行化がある。抜け道に

使われる方向とは逆に一方通行化すれば、抜け道として使えなくなり、交通量は減り走行速度も低下するだろう。欧米では、住宅地や繁華街で一方通行の道路が多くあるように見受けられる。安全安心、交通安全のためには、エンジンの付いた乗り物なら多少遠回りさせても、苦にはならないであろうという、至極もっともで合理的な理由からだと思われる。

一方通行化を市民から要望された場合、どのような対応をしているのか？ また、今後、狭小路、抜け道対策としてどのような方策を考えているのか？

【答 弁】

一方通行化には先ず直近に逆方向に通れる道が必要である。また沿道全軒の承諾が必要。公安委員会も独断ではできず慎重検討が必要。今後については要望があれば道路整備状況、住民の希望などに応じて検討されることとなる。

【質 問】

④「交差点の歩車分離式信号設置について」

悲惨な交通事故を撲滅するためには、ドライバーの意識に頼るだけではなく、交通システムにより右折左折時の事故を防止することが必要だ。交差点における右左折時の人身事故をシステムとして防止する極めて有効な方法とされるのが、人と車の流れを完全に分離する「歩車分離式信号」である。

三鷹駅前にはスクランブル方式の歩車分離式信号があるが、市内での歩車分離式信号の設置状況はどのようになっているのか？

警察庁が平成14年9月に策定した「歩車分離式信号に関する指針」に基づいて積極的に検討し、今後を計ることが望ましいと思われるが、今後の展望はどうなっているのか？

【答 弁】

現在、市内には11カ所整備されている。牟礼6丁目信号に関しては住民の要望であった。今後の設置に関しては、交通環境の十分な調査と警察、公安委員会との協議が必要になる。

◆ 補 足 ◆

道路の一方通行化と、横断歩道の歩車分離式信号化の実現については市民の要望が最重要であることが明確になりました。一方通行化や

歩車分離式信号化の必要あると思われる箇所がある場合、市や警察に申し出れば検討されることとなります。三鷹市には「交通安全地区委員会」という組織が小学校単位で設置されています。交通安全地区委員会とともに要望実現に向け動いていく事もよいでしょう。また、ご相談がある際は渥美典尚までお気軽にどうぞ。

平成14年、警察庁は「歩車分離式信号に関する指針」を制定しました。お読みになりたい方は渥美まで。またインターネットにも掲載されてますので検索サイトにて検索して下さい。

東台小学校の建てかえが

決定しました。



三鷹市立東台小学校（昭和48年開校）の建てかえが決定しました。これは耐震診断において、耐震補強をするよりも建てかえしてしまったほうが有効策であると判断されたためです。

耐震補強工事の場合、基礎工事などが大規模になるとともに、夏休み等を中心とした工事のみでは対応できない長期の工事期間が必要となり、耐震補強工事でも仮設校舎建設が必要となります。また、建築後34年経過していること、校舎等のバリアフリー化、防災体制の確立など新たな時代の要請に応える必要があることも含め、建てかえを行うことになりました。

建てかえのスケジュールは下記のような予定となっています。

- ・ 仮設校舎建設 平成20年5月
(仮設校舎用地：中原二丁目93番1外4筆)
- ・ 仮設校舎へ移転 平成20年10月
- ・ 既存校舎の解体 平成21年1月
- ・ 体育館耐震補強工事 平成21年7月
- ・ 新校舎建設 平成21年9月
- ・ 竣工、新校舎へ移転 平成23年8月

～ 政新クラブ会派視察へ参加 ～

1月29日～30日 佐賀県佐賀市

- ・ 佐賀市における小中一貫校の取組みについて
- ・ 佐賀市清掃工場の現地視察について
- ・ 清掃工場余熱利用施設の見学

手作り・簡易印刷チラシです。印刷品質はご容赦ください。